

単元名 中部地方 —活発な産業を支える人々の暮らし—

1 単元のねらい

地域の農業や工業などの産業に関する特色ある事象を中核として、それをそこでの自然環境や交通・通信などに関する事象と関連付け、産業が地域の自然環境や交通・通信などと深い関係をもっていることや、産業の振興と環境保全の両立などの持続可能な社会づくりが地域の課題となることなどについて考察することができる。

2 単元の評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
単元の評価規準	<ul style="list-style-type: none"> 中部地方について、自然環境を中核とした考察の仕方を基に地域的特色を理解し、その知識を身に付けている。 中部地方の地域的特色に関する様々な資料を収集し、有用な情報を適切に選択したり、図表にまとめたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 中部地方の地域的特色を、産業を中核とした考察の仕方を基に多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> 産業を中核とした考察の仕方を基に、中部地方の地域的特色に対する関心を高め、それを意欲的に追究し、捉えようとしている。

●学習改善につながる評価 ○評定に用いる評価

	1	2	3	4	5 単元のまとめ
知識・技能	●	●		●	○
思考・判断・表現		●	●		○
主体的に学習に取り組む態度	○				○

3 単元構想図 (全5時間) ☆獲得する認識

単元名 中部地方 - 活発な産業を支える 人々の暮らし -	単元学習前の生徒の認識 わたしたちが暮らす東海は自動車をはじめとする工業が盛んで、中京工業地帯は工業生産額がとて高かった。なぜ工業が盛んなのだろうか。また、中央高地や北陸ではどんな産業
------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------

第1時 中部地方をながめて【●知識・技能 ○主体的に学習に取り組む態度】 中部地方の自然環境にはどのような特色があるのだろうか。 ☆日本アルプス ☆東海地方 ☆北陸地方 ☆中央高地地方 中部地方は自然が多様であり、大きく分けて三つの気候に分けられる。この気候の違いによって各地の生活には大きな違いが見られることが分かった。また、気候の違いによって人々の生活も異なることも分かった。中部地方の産業では、東海、中央高地、北陸で産業の違いがあることが分かった。なぜ、三つの地域で発達している産業に違いがある

中部地方の三つの地域で、それぞれ特色ある産業が発達しているのはなぜだろう

第2時 特色ある東海の産業 【●知識・技能 ●思考・判断・表現】 なぜ東海では自動車工業が盛んなのだろうか。 ☆名古屋大都市圏 ☆中京工業地帯 ☆東海工業地域 ☆施設園芸農業 東海には、主要な交通網が通る名古屋市を中心に名古屋大都市圏が形成されている。産業の面では、名古屋大都市圏全体で自動車生産が行われ、臨海部の原料を加工する工場と内陸部の製品を造る工場が結び付き、中京工業地帯や東海工業地域が形成されている。また、	第3時 特色ある中央高地の産業 【●思考・判断・表現】 なぜ長野県ではレタス栽培が盛んなのだろうか。 ☆扇状地 ☆高原野菜 ☆精密機械工業 長野県でレタス栽培が盛んな理由は、他県よりも涼しい気候を活かし、時期をずらして生産ができるからである。また、交通網を通して各方面に出荷できる強みもある。その地域の気候の良さや交通網の発達によってレタスを中心とする高原野菜の農業が発達していることが分かった。また、製紙機械を造る技術と製紙工場やくわ畑の土地を生かした精密機械工業やコンピ	第4時 特色ある北陸の産業 【●知識・技能】 北陸で発展している産業には、どのような特色があるのだろうか。 ☆早場米 ☆伝統産業 ☆地場産業 北陸は日本を代表とする水田地帯で、早場米の産地として有名である。冬は降雪量が多く農業ができなため、伝統産業や地場産業などの様々な産業が発
--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

第5時 中部地方の学習をまとめよう

【○知識・技能 ○思考・判断・表現 ○主体的に学習に取り組む態度】

中部地方の三つの地域で、それぞれ特色ある産業が発達しているのはなぜだろうか。

中部地方の産業は、土壌や気候などの自然環境や都市と結び付く交通網、歴史的な背景などから発達してきたことが分かった。それぞれの地域の環境にあった産業をおこなってきたため、特色ある産業が発達したのだな。他の産業においても、地理的な条件や自然環境を活かしているのか、調べてみたい。

単元学習後の生徒の意識

中部地方は、気候が大きく三つに分かれていて、三つの地域で産業の違いが生じる理由は、自然環境の違いによる影響が大きいことが分かった。しかし、どの産業もそこにある自然環境や交通網やなどといった地理的な条件を活用したり、克服したりして発達している。さらに、昔からあるものを守るだけでなく培ってきたものをさらに発展させようという人々の工

4 単元指導計画

時	ねらい	おもな学習活動	評価規準	◇資料 指導・援助
---	-----	---------	------	-----------

<p>1 中部地方をながめて</p>	<p>中部地方の自然地形や雨温図の読み取りを通して、地形の特色と気候の特色が関連することに気付くことができる。また、気候の違いによって、人々の暮らし方も異なることが理解できる。</p> <p>☆日本アルプス ☆東海 ☆中央高地 ☆北陸</p>	<p>1 中部地方の県名と県庁所在地名を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>中部地方の自然環境にはどのような特色があるのだろうか。</p> </div> <p>2 中部地方の地形を地図から読み取る。 ・中央高地には日本アルプスが広がっている。 ・日本で一番長い信濃川が流れている。 ・中部地方には、山や河川など豊かな自然が多い。</p> <p>3 中部地方の各地の雨温図を見て気候の特色を確認する。 ・東海は、夏に湿った空気が季節風によって流れてくるため、気温が高く降水量が多い。 ・中央高地は、日本アルプスによって標高が高いため気温が低い。 ・北陸は冬の降水量が多く、雪がたくさん積もる。</p> <p>4 輪中地帯の町の様子や流雪溝の写真から、地形や気候に応じて人々が工夫して暮らしていることを読み取る。</p> <p>5 輸送用機械、もも、眼鏡枠の生産の県別割合のグラフから地域差があることに気づく。 ・三つの地域それぞれで行われている産業に違いがありそうだ。</p> <p>《単元を貫く課題》</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>中部地方の三つの地域で、それぞれ特色ある産業が発達しているのはなぜだろうか。</p> </div> <p>中部地方は自然が多様であり、大きく分けて三つの気候に分けられる。この気候の違いによって各地の生活には大きな違いが見られることがわかった。また、気候の違いによって人々の生活も異なることが分かった。中部地方の産業では、東海、中央高地、北陸で産業の違いがあることが分かった。なぜ、三つの地域で発達している産業に違いがあるのだろうか。</p>	<p>中部地方の自然環境を地図から読み取り、その違いから気候の違いや暮らしの違いを意欲的に調べることができる。 (知・技) (主)</p>	<p>◇中部地方の自然環境 ◇各地の気温と降水量 ◇輪中地帯の町の様子 ◇流雪溝</p> <p>自然環境を気候と関連付けて捉えることができるようにする。</p> <p>◇輸送用機械、もも、眼鏡枠の生産の県別割合</p> <p>三つの地域における共通点や違いに気付けるように、助言・発問を行い、単元の課題を設定できるようにする。</p>
<p>2 特色ある東海の産業</p>	<p>東海で自動車産業が盛んに行われている理由を考えるを通して、高速道路網や海上交通の結びつきにより東海や他地域とかかわりながら工業生産を行っていることが理解できる。</p> <p>☆名古屋大都市圏 ☆東海工業地域 ☆中京工業地帯 ☆北陸工業地域 ☆施設園芸農業</p>	<p>1 名古屋港の埠頭に並ぶ自動車の写真、おもな港の輸出額の内訳のグラフを見て、課題を設定する。 ・並んでいる車の台数がとても多い。 ・三河港や名古屋港から自動車や自動車部品が多く出荷されている。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>なぜ東海では自動車工業が盛んなのだろうか。</p> </div> <p>2 資料から課題に対する考えをつくる。 ・中京工業地帯は日本で一番の生産額。 ・名古屋を中心に中京工業地帯や東海工業地域が広がっている。 ・東京と名古屋を結ぶように、交通網が太平洋沿岸部を通っている。 ・高速道路や港を活用することで、国内だけでなく、諸外国とも結びつきを強めている。 ・豊田市には部品を作る町工場などもあり、関連工場が集中している。</p> <p>3 愛知県や静岡県農業では温暖な気候を生かした農業や温室などを使った施設園芸農業が盛んであることを知る。</p> <p>4 本時のまとめをする。</p> <p>東海には、主要な交通網が通る名古屋市を中心に名古屋大都市圏が形成されている。産業の面では、名古屋大都市圏全体で自動車生産が行われ、臨海部の原料を加工する工場と内陸部の製品を造る工場が結びつき、中京工業地帯や東海工業地域が形成されている。また温暖な気候を生かした農業や施設園芸農業が盛んとなっている。</p>	<p>産業の分布図から、東海の特徴を正確に読み取り、東海で自動車産業がさかんな理由を、これまでに培った技術と発達した交通網の活用と自然環境とを結び付けて、考察することができる。 (知・技) (思・判・表)</p>	<p>◇名古屋港の埠頭に並ぶ自動車 ◇おもな港の輸出額の内訳</p> <p>◇中京工業地帯の工業生産額の移り変わり ◇東海工業地域の工業生産額 ◇中京工業地帯・東海工業地域で盛んな工業</p> <p>◇愛知県・静岡県の農業生産額 ◇各地の気温と降水量（浜松）</p>

<p>3 特色ある中央高地の産業</p>	<p>長野県の気候の特徴や産業の特徴が分かる資料を読み取る学習を通して、長野県でレタス栽培が盛んな理由を自然環境や交通網の視点から考えることができる。 ☆扇状地 ☆高原野菜 ☆精密機械工業</p>	<p>1 レタスの生産割合のグラフを見せ、長野県でレタス栽培が盛んなことを知る。 ・2位の茨城県ととても差がある。 ・全国に出回るレタスの約35%が長野県産だ。</p> <p>なぜ長野県ではレタス栽培が盛んなのだろうか。</p> <p>2 資料をもとに課題に対する考えをつくる。 ・長野県の涼しい気候を活かして、レタスの出荷時期を遅らせている。 ・出荷時期が他県とずれると売上を独占できる。 ・長野県は人口が多い東京にもたくさんのレタスを出荷している。 ・長野県が出荷している8月から9月はレタスの値段が高くなっている。 ・中央高地は東京・名古屋・北陸など様々な方面に向かって高速道路が伸びているため出荷しやすい。</p> <p>3 精密機械工業も盛んであることを知る。 4 本時のまとめをする。</p>	<p>長野県の気候の特徴や出荷の特徴が分かる資料を通して、時期をずらして出荷することの利点を考え、レタス栽培が盛んな理由を考えることができる。 (思・判・表)</p>	<p>◇各地の気温と降水量(松本) ◇レタスの生産割合 ◇レタスの生産量上位3県の月別出荷量 ◇東京へ出荷されるレタスの量 ◇京浜地方でのレタスの卸売価格</p> <p>資料の提示の仕方の工夫し、資料を適切に読めるようにする。</p> <p>◇諏訪盆地の産業の変化</p>
<p>長野県でレタス栽培が盛んな理由は、他県よりも涼しい気候を活かし、時期をずらして生産ができるからである。また、交通網を通して各方面に出荷できる強みもある。その地域の気候の良さや交通網の発達によってレタスを中心とする高原野菜の農業が発達していることが分かった。また、製紙機械を造る技術と製紙工場やくわ畑の土地を生かした精密機械工業やコンピューター関連の電子機器などの製造も盛んになった。</p>				
<p>4 特色ある北陸の産業</p>	<p>北陸地方の伝統産業や地場産業が発達した理由を気候と関連付けて考察することができる。 ☆早場米 ☆伝統産業 ☆地場産業</p>	<p>1 雪が多い地域のような写真を見せ、どのような生活をしているか、どんな産業が発展しているか予想を考える。 ・冬は雪かきなどで大変そうだ。 ・今まで自然を活かした産業があったので、雪を活かした産業があるかもしれない。</p> <p>北陸で発展している産業には、どのような特色がある</p> <p>2 北陸の産業の特色を資料から読み取る。 ・冬の降水量が多いから春夏に雪解け水が多くなり、早場米が作れる。 ・小千谷ちぢみは、雪の上で布を広げることで独特の質感を出している。 ・輪島塗などの石川県の伝統工芸品は、江戸時代の歴史的な背景から発達してきた。 ・鯖江市のメガネ産業は、日本の94.1%のシェアを誇っている。 ・アルミニウムを使った様々なものが生産されている。</p> <p>3 伝統産業や地場産業が発達した経緯を気候と関連付けて考える。 ・農家の副業として発達したのだな。 ・伝統産業の中には、雪を活かしたのものもある。やはり、気候の特色と産業特色には大きな関係性があることが分かった。</p> <p>4 本時のまとめをする。</p>	<p>北陸地方の伝統産業や地場産業が、雪が多い気候の特色を通して、農家の副業として発達してきたものと理解し、考察することができる。 (知・技)</p>	<p>◇各地の気温と降水量(上越) ◇雪の多い地域の様子 ◇小千谷ちぢみ ◇北陸の産業 ◇メガネフレームの生産割合 ◇メガネフレームの生産</p> <p>写真資料を提示し、積雪量や冬の気候の厳しさをイメージしやすくし、産業の発達と関連付けることができるようにする。</p>
<p>北陸地方は日本を代表とする水田地帯で、早場米の産地として有名である。冬は降雪量が多く農業ができないため、伝統産業や地場産業などの様々な産業が発達した。</p>				
<p>5 中部地方</p>	<p>学習内容の振り返りをまとめる活動を通して、中部地方の地域的特色を多面的・多角的にとらえ、主体的</p>	<p>1 前時までに学習したことを復習し、単元を貫く課題を確認する。</p> <p>中部地方の三つの地域で、それぞれ特色ある産業が発達しているのはなぜだろうか。</p> <p>2 単元を貫く課題に対して、学んできたことを活かし</p>	<p>各単位の時間で学んできたことをもとに、三つの地域の特色を</p>	<p>これまでのノートの記述や資料をもとに、産業の特色の違いや共通点をまとめることができるようにする。</p>

	<p>に単元のまとめを することができる。</p>	<p>て、産業が発達してきた理由や共通点をまとめる。 ・それぞれの地域で自然環境を活かしている。 ・自然の厳しさを克服するように発達した産業もある。 ・空港や港とつながる高速道路網の存在も大きな影響がある。 ・歴史的な文化をもとに発達してきた産業もある。 3 まとめたものを班や全体で交流し、自分のものになった内容があれば書き加える。 4 単元を貫く課題について自分の考えをまとめる。</p>	<p>まとめる活動を通して、産業が発達する共通する条件に気づき、まとめることができる。 (知・技) (思・判・表) (主体)</p>	
		<p>中部地方の産業は、土壌や気候などの自然環境や都市と結び付く交通網、歴史的な背景から発達してきたことが分かった。これらの地理的な条件の中で作られた製品は中部国際空港や名古屋港を通して日本だけでなく世界へ輸出されていることが分かった。</p>		